3 年度内の各年度に係るものを合算して得たものを 3 で除して得た数値（小数点以下 2 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）をいい、当該年度の 4 月 1 日以前 3 年の間に市町村の廃置分合又は境界変更によつてその区域に異動のあつた市町村については、当該市町村が当該年度の 4 月 1 日現在の区域をもつて存在していたものとみなして算定し、これらの額の分別の方法については、第 49 条及び第 50 条の規定を準用する。）に−0.50 を乗じて得た数（小数点以下 3 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）と 0.70 との合計数とする。ただし当該合計数が、0.300 に満たないときは 0.300 とし、0.500 を超えるときは 0.500 とする。

七　その他の土木費　人口

算式Ⅰ

$$\frac{\begin{array}{l}B \times 0.3 + \sum_{n=16}^{令5}(C_n \times D_n) + E \times 0.3 + \sum_{n=16}^{令5}(F_n \times G_n) + \\ \sum_{n=16}^{18}(H_n \times I_n) + \sum_{n=6}^{令5}(J_n \times K_n) + \sum_{n=16}^{22}(L_n \times M_n) + \sum_{n=17}^{22}(N_n \\ \times O_n) + \sum_{n=18}^{令5}(P_n \times Q_n) + \sum_{n=21}^{令5}(R_n \times S_n) + \sum_{n=16}^{令5}(T_n \times U_n) \\ + \sum_{n=16}^{令5}(V_n \times W_n) + \sum_{n=25}^{令5}(X_n \times Y_n) + Z \times 0.6 + \sum_{n=28}^{29}(AA_n \\ \times AB_n) + AC_{29} \times AD_{29} + \sum_{n=29}^{令5}(AE_n \times AF_n) + \sum_{n=29}^{令5}(AG_n \times \\ AH_n) + AI_{令5} \times AJ_{令5} + \sum_{n=29}^{令5}(AK_n \times AL_n) + \sum_{n=30}^{令5}(AM_n \\ \times AN_n) \sum_{n=30}^{令5}(AO_n \times AP_n) + AQ_{令2} \times AR_{令2} + \sum_{n=10}^{19}(AS_n \times \\ \times AT_n) + AU_{令5} \times AV_{令5}\end{array}}{1{,}420\text{円} \times A}$$

算式Ⅰの符号

A　測定単位の数値

B　第 3 号の港湾における外郭施設の延長を測定単位とするものに係る算式の符号 B に同じ（港湾における外郭施設の延長がない団体のみ適用する。）。

C_n　第 3 号の港湾における外郭施設の延長を測定単位とす

3 年度内の各年度に係るものを合算して得たものを 3 で除して得た数値（小数点以下 2 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）をいい、当該年度の 4 月 1 日以前 3 年の間に市町村の廃置分合又は境界変更によつてその区域に異動のあつた市町村については、当該市町村が当該年度の 4 月 1 日現在の区域をもつて存在していたものとみなして算定し、これらの額の分別の方法については、第 49 条及び第 50 条の規定を準用する。）に−0.50 を乗じて得た数（小数点以下 3 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）と 0.70 との合計数とする。ただし当該合計数が、0.300 に満たないときは 0.300 とし、0.500 を超えるときは 0.500 とする。

七　その他の土木費　人口

算式Ⅰ

$$\frac{\begin{array}{l}B \times 0.3 + \sum_{n=15}^{令4}(C_n \times D_n) + E \times 0.3 + \sum_{n=15}^{令4}(F_n \times G_n) + \\ \sum_{n=15}^{18}(H_n \times I_n) + \sum_{n=6}^{令4}(J_n \times K_n) + \sum_{n=16}^{22}(L_n \times M_n) + \sum_{n=17}^{22}(N_n \\ \times O_n) + \sum_{n=18}^{令4}(P_n \times Q_n) + \sum_{n=21}^{令4}(R_n \times S_n) + \sum_{n=15}^{令4}(T_n \times U_n) \\ + \sum_{n=15}^{令4}(V_n \times W_n) + \sum_{n=25}^{令4}(X_n \times Y_n) + Z \times 0.6 + \sum_{n=28}^{29}(AA_n \\ \times AB_n) + AC_{29} \times AD_{29} + \sum_{n=29}^{令4}(AE_n \times AF_n) + \sum_{n=29}^{令4}(AG_n \times \\ AH_n) + \sum_{n=29}^{令4}(AI_n \times AJ_n) + \sum_{n=30}^{令4}(AK_n \times AL_n) + \sum_{n=30}^{令4}(AM_n \\ \times AN_n) + AO_{令2} \times AP_{令2} + \sum_{n=9}^{19}(AQ_n \times AR_n)\end{array}}{1{,}380\text{円} \times A}$$

算式Ⅰの符号

A　測定単位の数値

B　第 3 号の港湾における外郭施設の延長を測定単位とするものに係る算式の符号 B に同じ（港湾における外郭施設の延長がない団体のみ適用する。）。

C_n　第 3 号の港湾における外郭施設の延長を測定単位とす